

賛否など態度決定に至った理由・討論

|                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和8年9月定例会         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 議案番号 議案名          | <p>認定第1号 令和7年度松戸市一般会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第2号 令和7年度松戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第3号 令和7年度松戸市松戸競輪特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第6号 令和7年度松戸市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第7号 令和7年度松戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第8号 令和7年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第9号 令和7年度松戸市相模台地区土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第10号 令和7年度松戸市水道事業決算の認定について</p> <p>認定第11号 令和7年度松戸市病院事業決算の認定について</p>                                                                                                                                                                 |
| 議員名・会派名等          | 広瀬優斗 松戸志政会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 賛否態度              | 賛成                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 賛否など態度決定に至った理由や討論 | <p>認定第1号令和7年度松戸市一般会計歳入歳出決算から認定第12号令和7年度松戸市下水道事業決算について、只今の委員長報告の通り、認定することに賛成の立場から討論を行います。</p> <p>令和7年度については、エネルギー価格の上昇、円安による輸入コスト増、人件費・建設費の高騰等によるインフレ圧力と同時に、金利の上昇が顕著となり、本市財政の取り巻く環境は一層難しい中での舵取りで合ったと推察をいたします。同時に、市民生活についても物価高騰はとどまるところを知らず、家計への影響は大きなものとなりました。</p> <p>決算内容を見ると、令和6年度の市税収入から約26億円の増収となり、過去最大となった一方、歳出の半分以上を占める民生費については、国の非課税世帯等臨時特別給付費関係経費を除くと、令和6年度比約62億円の増と市税の伸びを大きく上回るペースで増加をしています。日本を取り巻く少子高齢化による社会保障費の増加が厳しさを増すと同時に、人口が約6万人少ない、お隣柏市よりも市税収入は約6億円少ない結果となり、本市の人口動態を含めた構造的な課題が浮き彫りになってきたように感じます。</p> <p>このような社会情勢、市政状況の中、我々会派としては、前年度に引き続き、財政再建に向かう視点のもと、事業そのものの評</p> |

価、費用対効果、より効率的な運用は無いかなど、時に厳しい意見も述べながら委員会審査に臨みました。時間の都合上その全てを取り上げることはできませんが、抜粋をして以下意見を述べさせていただきます。

まず、総務費ではメタバース市役所構築支援業務について、その実績として、サービス提供開始の10月31日からの約5ヶ月間で延利用者数が4834件とのことでした。利用数としては多いと捉えることは難しく、この事業が市民生活をどのように向上させるのかまだまだ不明確であるように感じました。令和7年度土台を構築した本事業を今後どのように市民生活や市民福祉の向上に活用していくのか、今年度は拡充のための予算措置もしておりますが、費用対効果に見合っている事業であるか今後の取り組みを注視したいと思います。また、町会・自治会電子回覧板「自治会サポ」についても、登録団体数は市内町会・自治会のうちの約46%にとどまっており、登録はしたものの、活用につながっていない事例も多々聞き及んでおります。町会・自治会のデジタル化は導入が目的ではなく、活用し活動の負担軽減や活性化が目的であるかと思います。今後の行政としての取り組み、支援を期待しております。

次に民生費です。昨年も会派として指摘をさせていただきましたが、子育てコーディネーターは1億円以上の財源を投入している一方、相談実績は12299件と、一件あたりの相談コストは非常に高く、本市の支援体制には理解をしつつも、その費用対効果については疑問を感じざるをえません。また、子育て相談支援業務として、他にも多くの類似事業を展開していることから、これらを整理し財政負担の軽減を図るべきであると考え、相談業務全体を見直していただくことを要望いたします。

次に、衛生費では5歳児健康診査検討会の成果として、関係機関との協議が前向きに進み、早期の事業スタートに向け連携体制の強化が図られたことがわかりました。ぜひ、早期実現に向けご尽力をよろしくお願いいたします。

次に、労働費、農林水産業費、商工費であります。これらの費目は本市財政全体から考えると、決して事業規模は大きくありませんが、市政運営の活力を支え、市民の経済活動や地域産業の発展に大きく寄与する重要な分野であります。一方審査の中では、国の補助事業を優先して活用される企業や事業者が多いことから、執行率の低い事業が散見されました。中小企業設備投資補助金では、国の補助制度よりも規模が小さいながらも、申請手続きを短縮することで国の補助制度と差別化を図り、支援体制を構築されている点に担当課の工夫とご努力を感じることができましたが、執行率の低い現状を認識し、辛い所に手が届く、きめ細かな支援と利用者のニーズに応えた制度設計を引き続きよろしくお願いいたします。

次に土木費です。特に住宅支援としての三世代同居等住宅支援業務と結婚新生活支援業務について、どちらも不用額が多く、執行

率が低い決算となりました。特に結婚新生活支援業務については、昨年から、低所得者支援であるのか、少子化対策であるのか質疑を行い、少子化対策を主目的とされているお考えを答弁いただきました。しかしながら、その効果検証は令和7年度も行われず、費用対効果を測ることも難しいように感じます。昨今の不動産価格の高騰と、金利の上昇は凄まじく、若年世帯にとって、住宅取得のハードルは大変高くなっております。東京に隣接し、ベッドタウンの性質がある本市だからこそ、定住の促進につながる住宅支援業務は大変意義深いものであると考えております。ぜひ、低執行の現実を受け止め、これら業務の抜本的な見直しの上、本市の未来に資する制度設計を期待しております。

次に、消防費であります。令和6年度11月より貸出が開始されたAR・VR機器の導入成果として、令和7年度は通年を通して毎月貸出があり、地域の防災訓練等で活用されたとのことでした。言わずもがな、昨今の豪雨被害を最小限に抑えるためにも、これらを活用した防災意識の向上に引き続きご尽力をよろしくお願いいたします。

歳出の最後に、教育費であります。松戸市フリースクール等利用児童生徒支援補助金では、実人数43名に利用されたとのことであり、児童生徒やそのご家庭にとって大きな支えになったものと受け止めております。一方で、将来的に公教育の場へ戻ることができるよう、学校とのつながりを保ちながら、一人ひとりの状況に応じた丁寧な支援を継続していただくことを要望いたします。

また、戸定歴史館・連携特別展や博物館の博学連携展示では、松戸の歴史や文化を大変多くの方に感じていただく素晴らしい機会となりました。本市が持つ歴史や文化はまさに貴重な財産であります。引き続き、市内外へ本市の歴史や文化を発信し、後世へと語り継がれる取り組みをよろしくお願いいたします。

次にこれら事業執行の財源となる歳入についてであります。

冒頭にも申し上げた通り、市税の伸びの一方、民生費がより一層肥大化し、大変厳しい財政状況が続いている中で、令和7年度はどのような考え方で財政運営を行い、その結果をどのように評価しているのか、総括的な質問をいたしました。ご答弁では、国の交付金を活用し一般財源の負担を抑えるなど限られた財源を効果的に配分することにより、実質単年度収支は財政推計の見込みより2億円改善し、財政調整基金についても見込みより26億円

多い約80億円の残高確保、経常収支比率も1.1ポイント改善したとのことでした。市長、また財政当局の「選択と集中」の政策判断が数字として現れ、そのご努力に敬意を表すところであります。

ここからは、財政運営に対する指摘事項を含めた総括的な意見となりますが、今回の決算審査を通じて一定の財政改善が数字として確認できたことは評価する一方で、今後の財政運営を考えたと

き、歳出の抑制や既存事業の見直しだけでは、本市が抱える構造的な財政課題を乗り越えていくことは難しいものと考えます。特に懸念するのは、将来の歳入確保につながる投資が十分なスピードで進んでいるのかという点であります。民生費をはじめとする義務的な経費が今後も増加していくことが想定される中、まちの魅力や利便性を高め、定住人口や交流人口の増加につなげていくこと、企業活動を後押しし、新たな投資や雇用を呼び込むことなど将来の市税収入の確保につながる施策については、昨今の急激なインフレを鑑み、必要な時期を逸することなく、積極的かつ戦略的に進め、将来の財政基盤を強化していくという視点がこれまで以上に重要となります。足元の財政健全化と将来への投資を両立させ、歳入歳出の双方から持続可能な財政構造への転換を図っていただくことを強く期待し、意見とさせていただきます。

最後に、財政改革の視点での質疑や討論となったため、時間の都合上、効果を上げている施策について触れられていないことは大変恐縮でございますが、その多くが、市民福祉の向上と、市政発展のために適正に事業執行されたことを確認できたため、各決算について認定することに賛成をいたします。市職員の日頃からの着実な業務執行に会派一同心から敬意を表します。厳しい財政状況に加え、インフレ圧力や金利の上昇などの外的要因、豪雨被害をはじめとする災害対策等、激動の時代を迎えておりますが、市長のリーダーシップのもと全庁一丸となってこの荒波を乗り越え、将来世代に責任を持ち、持続可能な市政運営に努めていただくことを期待し賛成の討論といたします。皆様の満場のご賛同をよろしくお願いいたします。